

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間 PDCAサイクル確立事業

「がん教育」に関する取り組み

2022年7月25日（月）

広島県厚生農業協同組合連合会

尾道総合病院

索引

I. 実施背景、目的

II. 実施対象

III. 実施方法

IV. 実施内容

V. 結語

VI. 各施設のPDCAサイクル実施計画・管理表

I. 実施背景、目的

○背景

広島県では、平成29（2017）年に政府が策定した「第三期がん対策推進基本計画」を受け、平成30（2018）年度から令和5（2023）年度の6年間の計画で、「第3次広島県がん対策推進計画」が策定され、「がんと共生：相談支援・情報提供」の一環として、「がんに関する普及啓発」と「学校教育におけるがん教育の実践」が目標としてあげられている。また県教育委員会では、2019年5月から中学校、義務教育学校、高等学校、および特別支援学校において、がん教育の講演等を実施する外部講師としての医師派遣が決定された。

○目的

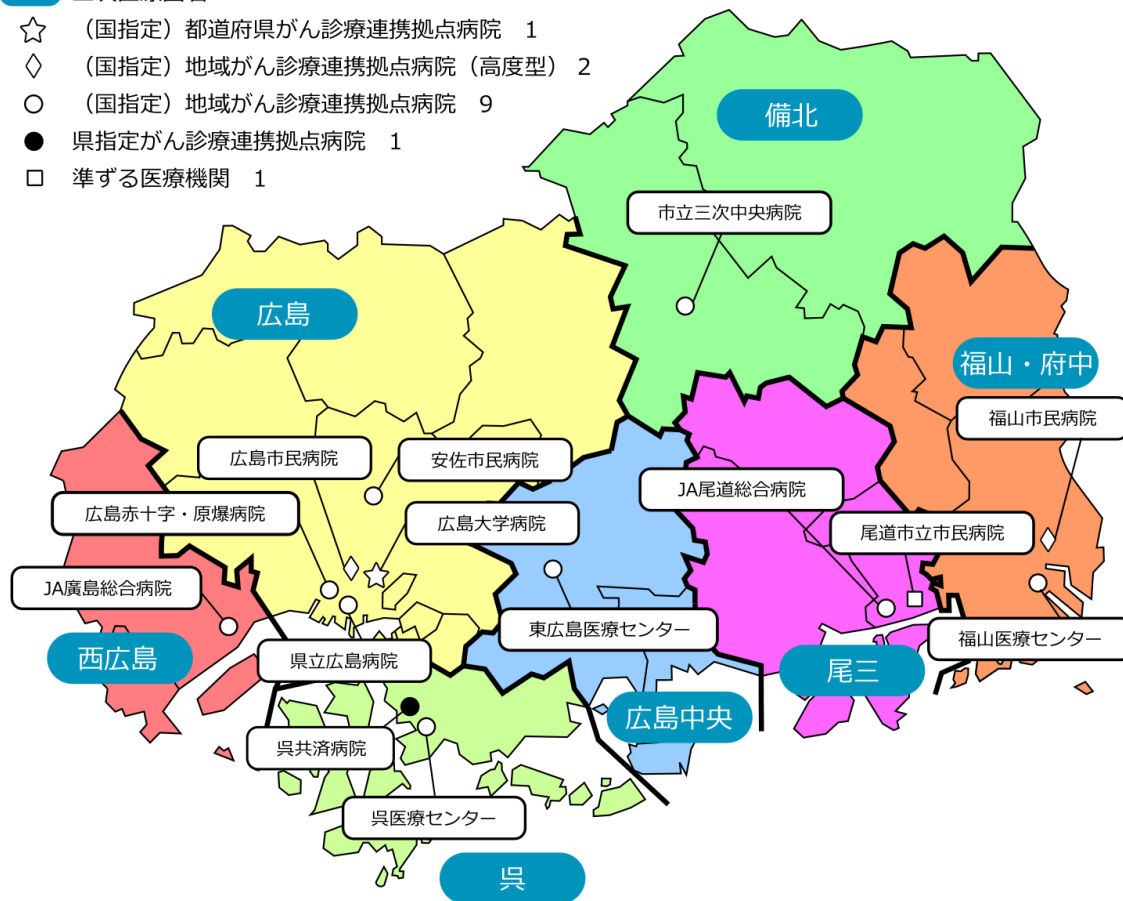
各がん診療連携拠点病院において展開されている「がん教育」の実践を検証し、講師の選定、授業内容の確認、その教育効果、今後の課題等を共有し、県下における「がん教育」の均てん化およびレベルの向上を図る。

II. 実施対象

広島県がん診療連携拠点病院（国及び県指定）及びそれに準ずる14施設

● 二次医療圏名

- ☆ (国指定) 都道府県がん診療連携拠点病院 1
- ◇ (国指定) 地域がん診療連携拠点病院 (高度型) 2
- (国指定) 地域がん診療連携拠点病院 9
- 県指定がん診療連携拠点病院 1
- 準ずる医療機関 1



III.実施方法

	実施時期	実施内容
令和3年	5月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● 「令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル確立事業について」の説明と依頼 ● 「がん教育に関する状況確認と今後の課題に関するアンケート」の実施
	5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート回収
	6月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート結果送付および実施計画（P）の作成依頼
	7月5日	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施計画（P）回収
	7月5日～	<ul style="list-style-type: none"> ● 各拠点病院が作成した実施計画（P）を実行（D）
	12月16日	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第三者評価の組み合わせに伴う追加アンケート」の実施
	12月31日	<ul style="list-style-type: none"> ● 追加アンケート回収
令和4年	1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ● 実行（D）の期間終了
	2月8日～ 2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ● 第三者評価に伴うZOOM会議の日程調整
	～2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● 実行（D）結果の回収およびC（自己評価）の回収
	3月3日～ 3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ● 第三者評価に伴うZOOM会議（4グループに分かれ実施）
	3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ● 第三者評価の回収
	3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ● 第三者評価の結果送付および改善（A）の作成依頼
	3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ● 各施設の改善（A）回収
	7月〇日	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体のとりまとめ

IV.実施内容

IV-1. アンケート結果

IV-2. 課題についての取組み (P・D・A)

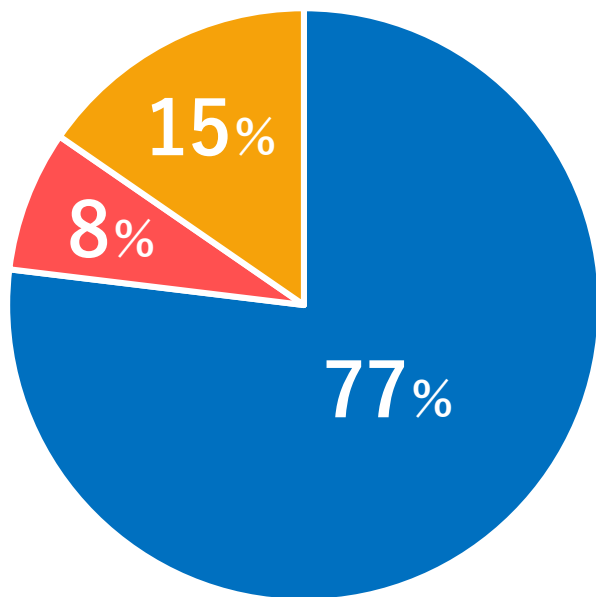
IV-3. 課題についての他者評価

IV-1. アンケート結果 (1)

「がん教育に関する状況確認と今後の課題に関する」アンケート

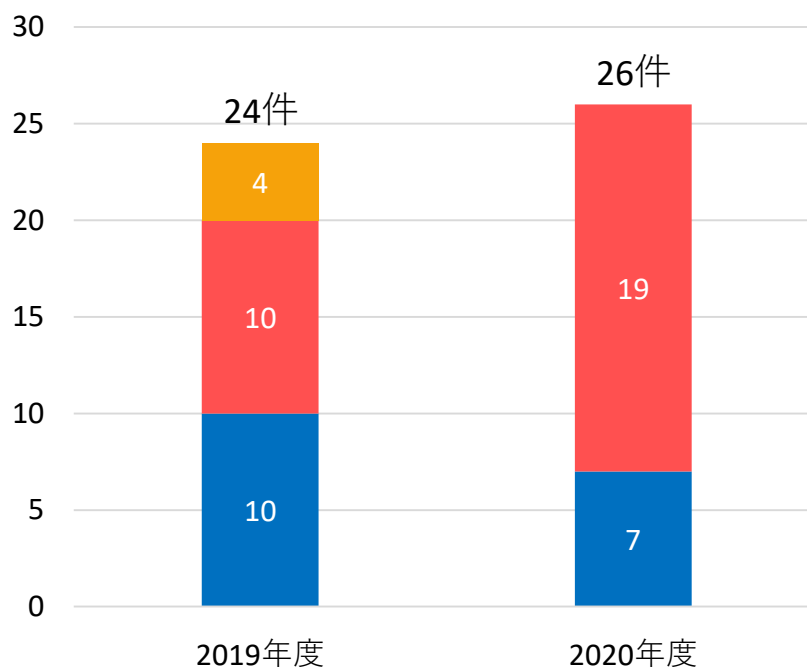
■学校教育におけるがん教育の実践

学校教育におけるがん教育の実践



- 実施中
- 準備中・計画中
- 実施できていない

「実施中」の内訳



- 高等学校
- 中学校
- 小学校

IV-1. アンケート結果 (2)

「がん教育に関する状況確認と今後の課題に関する」アンケート

■ 教育委員会等との窓口調整

- ・ 事務部門の担当者 (77%)、医師 (15%)、その他 (7%)

■ 講演で使用する資料

- ・ 厚生労働省等から配布されるもの (12%)
- ・ 文部科学省等から配布されるもの (29%)
- ・ 広島県から配布されるもの (17%)
- ・ 独自に作成したもの (38%)
- ・ その他 (4%)

■ 学校との事前調整・事前確認について

- ・ 学校教諭と事前打ち合わせを実施
- ・ 事前学習の状況確認や生徒へ事前アンケートを実施
- ・ 生徒あるいは家族ががんに罹患している等の理由で触れてほしくない話題などの確認

など

IV-1. アンケート結果 (3)

「がん教育に関する状況確認と今後の課題に関する」アンケート

■ 講義後の事後評価について

- ・ アンケート実施 (27%)
- ・ 感想やコメントを送ってもらう (27%)
- ・ 特に実施していない (37%)
- ・ 今後、計画中 (9%)

■ 実施して感じる『がん教育』の必要性について

- ・ 若い時に印象付けられたことは大人になっても残っているから
- ・ 講義を受けた子から家族へ講義内容が伝えられ、生活習慣の見直しやがん検診の啓発につながる
- ・ 生徒のアンケートや感想等から必要性を感じる

など

IV-1. アンケート結果 (4)

「がん教育に関する状況確認と今後の課題に関する」アンケート

■ 実施して感じる『がん教育』の難しさ・課題について

- ・ 大人数の生徒を相手にする講義のため双方向コミュニケーションが難しい
- ・ 多くの学校で開催したいが、通常業務の合間では難しい
- ・ 生徒たちがどこまで理解できているか分からない

など

■ 『がん教育』の実践に着手できない・たどりつけない理由

- ・ 多数の講師を各学校に派遣したいが、通常業務が忙しく『がん教育』に割く時間がない
- ・ 事前準備（外部講師講習等）に時間と労力が必要
- ・ 教育委員会や学校側との調整が困難

など

IV.実施内容

IV-1. アンケート結果

IV-2. 課題についての取組み (P・D・A)

IV-3. 課題についての他者評価

IV-2. 課題に対する取り組み

14施設のPDCAサイクル実施計画管理表から課題に対する取り組みを次の3つに分類。

1. 学校における『がん教育』の実践

2. 受講者の評価と理解度

3. 人材（講師）の確保

各項目別に問題点(P)・実行(D)・改善(A)を抽出しまとめた。

1. 学校における『がん教育』の実践 問題点(P)

問題点 (P)	施設数
学校教育において求められる『がん教育』のニーズの把握が難しい	5
コロナ禍での開催制限	4
講義実績について（依頼がない、新規の依頼先が増えない等）	3

1. 学校における『がん教育』の実践 実行(D)

実行 (D)

ニーズの把握	● 教育委員会と連絡を取り協議
	● 事務処理マニュアルの作成
	● 受講者対象に事前アンケートの実施を実施
	● 学校と連携をし、テキストの作成を計画
	● 学校の教員より事前に意見を伺った
コロナ禍での開催	● 感染状況を考慮して実施
	● 小人数制で開催
	● 市民図書館に「がん情報コーナー」を設置
	● YouTubeや病院公式LINEでの動画配信やオンラインでの開催
	● 開催できず
講義実績	● 施設責任者に情報が遅延なく入る体制を整備
	● 教育委員会より依頼があり、実施ができた
	● 養護教諭の会議に参加し、『がん教育』について意見交換が出来るよう調整

1. 学校における『がん教育』の実践改善(A)

改善 (A)

- 事前アンケートを実施し、学校や生徒のニーズに応える
- がんフォーラムで中学生、高校生向けに情報発信
- 講義前に教職員との授業内容、配布物等に対する討議を実施
- 教職員にもアンケートを実施
- 学校側と協議し、講義内容を必要に応じて更新していく
- 感染状況に関わらず、講演が実施できるような体制構築
- ホームページ等を活用していく
- ハイブリット形式での開催は参加が難しいと思われるため、別の普及啓発方法を考えていく
- 教育委員会との連携・協議の時期を早め、早期に各学校へ『がん教育』の広報・有用性を伝える

1. 学校における『がん教育』の実践

▶ まとめ

- 事前アンケートや学校側と連携を取り、受講者（生徒 & 教職員）が求めている『がん教育』の内容を把握し講演に活かしている
- コロナ禍においても、感染状況を踏まえ、開催方法等を工夫し実施している
- 今までは依頼がなかった施設へも依頼があるなど、教育委員会や学校等が『がん教育』の必要性を強く感じてきている

2. 受講者の評価と理解度

問題点(P)

問題点 (P)	施設数
受講した生徒及び教職員の理解度・評価が把握できていない	4

2. 受講者の評価と理解度

実行(D)

実行 (D)

- 講義後に生徒及び教職員へ事後アンケートを実施

- 講義後に生徒からの感想を頂戴した

- 講義後に質問票を用いた理解度調査を実施

- 講義後に意識変化のチェックを実施

2. 受講者の評価と理解度

改善(A)

改善 (A)

- 生徒及び教職員の意見を参考に、医学用語を含め分かりやすい内容に改善していく

- 生徒の関心のある項目を講義に取り入れる

- 学校側と連携しより良い講義を提供していく

- アンケート結果を次回の講義へ反映させる

2. 受講者の評価と理解度

まとめ

- 事後アンケートの実施や講義の感想を頂くことで、今後の講義につなげていくことができる。
(テーマ選定や、講義内容等について)
- 意識変化や理解度のチェックを実施することで、講義を受ける側もより一層『がん』について興味を深め、理解につながるのではないか。

3. 人材（講師）の確保

問題点(P)

問題点 (P)	施設数
講師人数の確保及び講師の負担軽減（診療と『がん教育』の両立）	4

3. 人材（講師）の確保

実行(D)

実行 (D)

- 院内の会議において、『がん教育』の実績及び意義について周知した

- 院内の委員会にて、『がん教育』の取組みについて共有

- 院内にて『がん教育』の講師を募集した

- オンラインでの開催

3. 人材（講師）の確保

改善(A)

改善（A）

- 対応可能な講義数を決め、教育委員会に希望校を募っていただく

- 院内で『がん教育』の実績や重要性を共有し、講師を募る

- オンライン環境が整った学校では、オンライン開催を継続し、講師の負担軽減に努める

3. 人材（講師）の確保

▶ まとめ

●院内にて『がん教育』の実績や重要性を共有することで、講師の増員につながった例もあった。

●コロナ禍で実施されたオンライン開催という方法が、講師の負担軽減につながったという良い報告もあった。

IV.実施内容

IV-1. アンケート結果

IV-2. 課題についての取組み (P・D・A)

IV-3. 課題についての他者評価

IV-3.課題についての他者評価(1)

方法：1施設に対して、2 or 3 施設からの他者評価を得た

(※他者評価を実施するにあたり、ZOOM会議を実施)

【ZOOM会議の内容】

- 14施設を4グループに分け実施
- 1グループ約1時間の会議

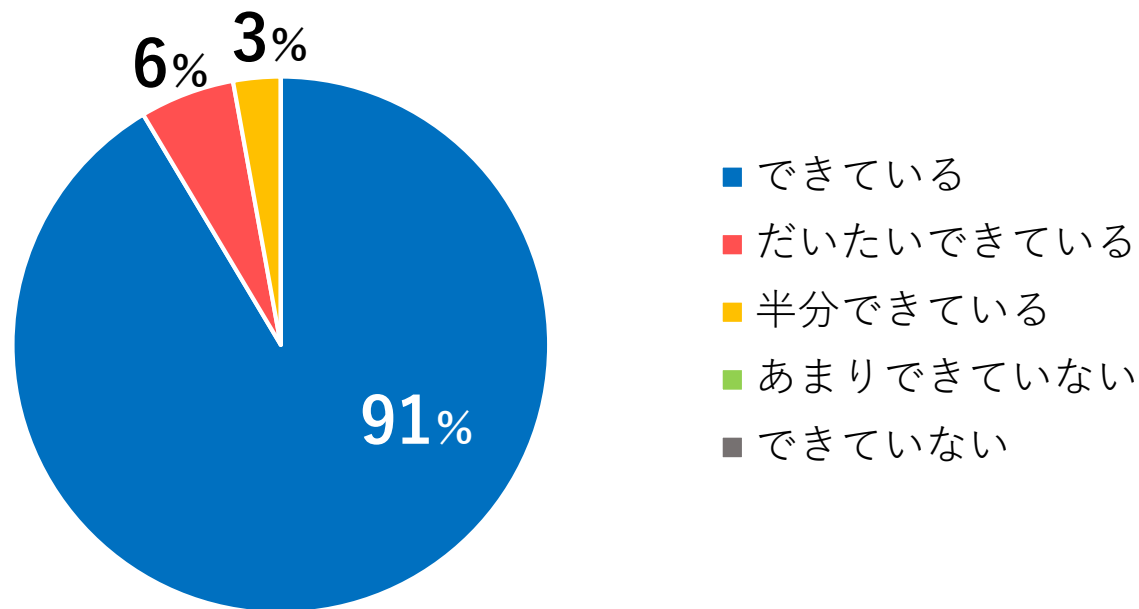
⇒1施設の持ち時間（約15分）

前半で各施設より実施計画・実行・自己評価を報告

後半で他者評価を実施

IV-3. 課題についての他者評価(2)

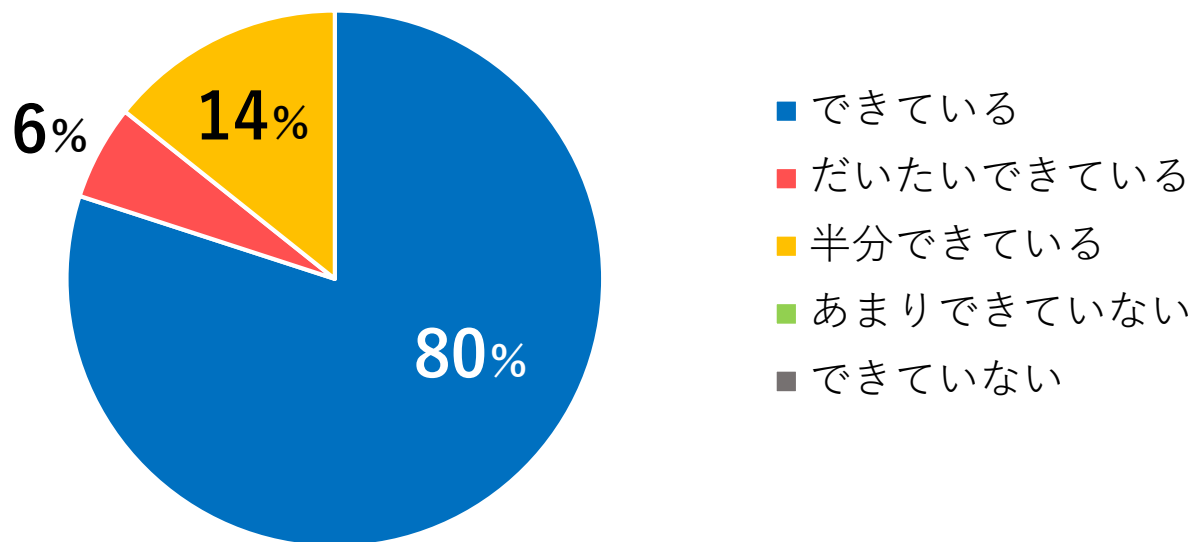
■ 指針に沿った計画が立案されているか (N=36)



- 約9割の施設が指針に沿った計画が立案されているが『できている』『だいたいできている』という評価ではあったが、新型コロナウイルス感染症の影響下により、計画ができていない施設は、低い評価となった。

IV-3. 課題についての他者評価(3)

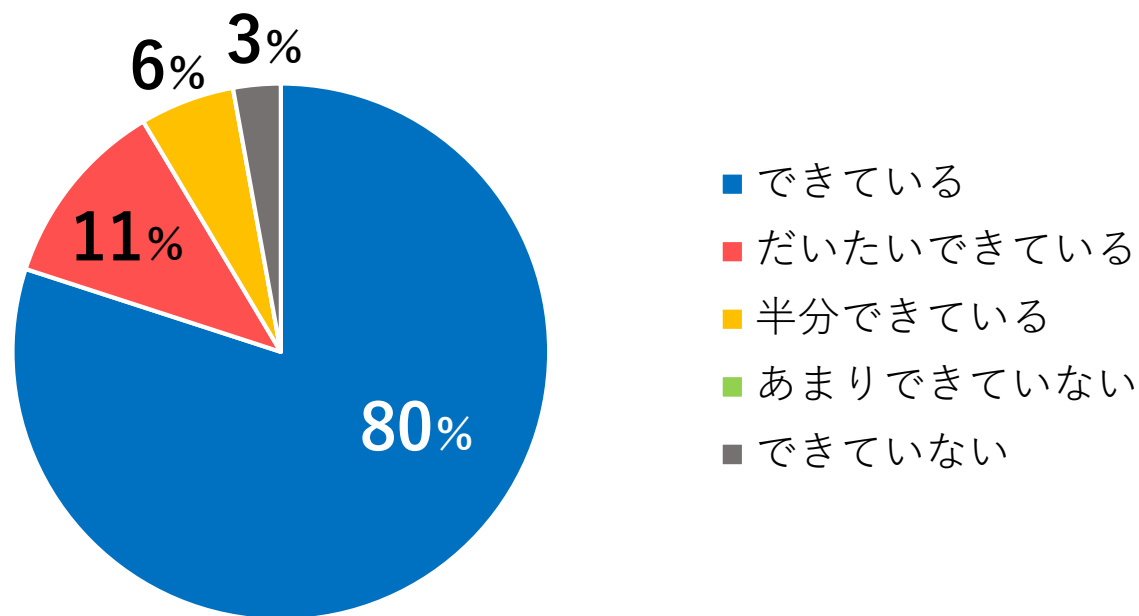
■ 計画に沿った実施がなされているか (N=36)



- 計画立案同様、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない施設は低評価。また、現在計画を実行中の施設もあり、そういった施設においても『半分できている』という評価であった。

IV-3. 課題についての他者評価(4)

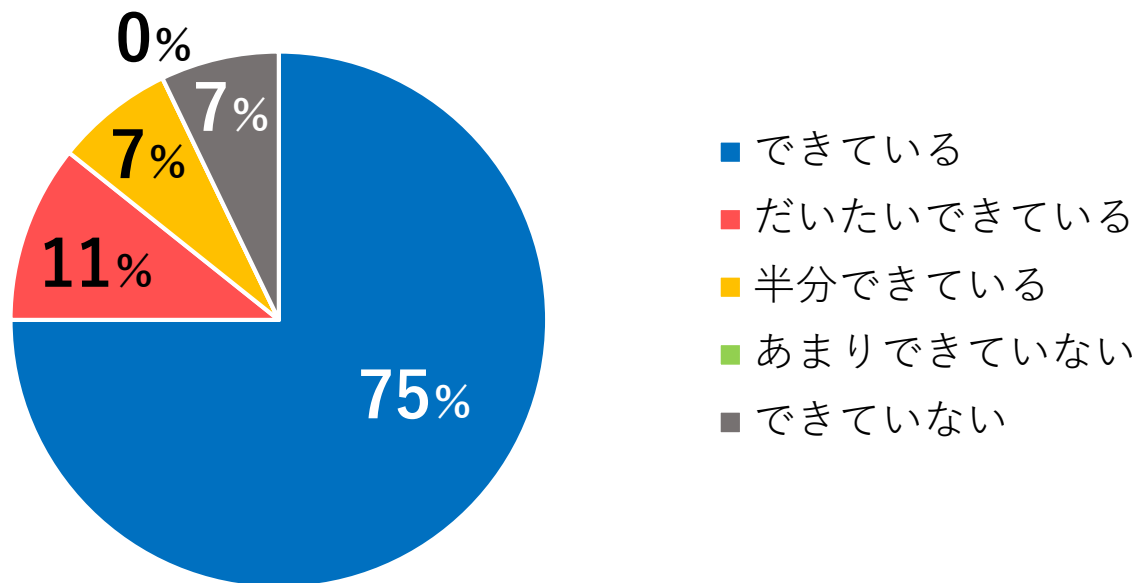
■ 計画、実施について評価できているか (N=36)



- 計画立案同様、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない施設は低評価であった。

IV-3.課題についての他者評価(5)

■処置・改善策が挙げられているか (N=36)



- 改善策が不明確であったり、現時点で検討されていない施設もあり、『できている』という施設は、約7割に留まった。

V. 結語

2021年度の広島県がん診療連携協議会のPDCAのテーマは『がん教育』とした。

各施設が『がん教育』についての取組みに向け、計画を立て実施し、改善策を示すことができた。

コロナ禍という難しい状況下でも、多くの施設が教育委員会や学校と連携を取りながら講義を実施。

講義後はアンケートを実施する等、フィードバックを得ることで、次回の講義につなげることができており、また、その実績等を院内で報告することで、院内においても『がん教育』の重要性を周知し、新たな人材（講師）確保につながる等の成果を得ていた。

これを機に、各施設での『がん教育』の取組みがより一層向上し、がんに対する正しい知識や認識への普及啓発につなげていければと考える。

VI.各施設のPDCAサイクル 実施計画・管理表

各施設のPDCAサイクル実施計画・管理表を
ご参照ください。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年2月22日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
県立広島病院	学校におけるがん教育の実践の継続	<p>①令和2年度における派遣実績は2校、令和3年度における派遣予定は3校であり、増加傾向である。今後、予測される派遣依頼の増加に対応する準備ができていない。</p> <p>②生徒の理解度の把握ができていない。</p>	<p>①今後の予測される派遣依頼の増加に対応できるよう、院内でがん教育の重要性について共有する。</p> <p>②今後の講義をよりよいものとするために、学校に対し、講義後の生徒の反応を教えてくださいよう依頼する。</p>	<p>①令和3年6月</p> <p>令和3年11月</p>	<p>①6月開催のがん診療推進運営委員会において、がん教育の実績及び意義について周知した。</p> <p>②今年度は3校に派遣。派遣先に対し、事前にアンケートを実施し、相手方の要望を踏まえた講義を行った。また、講義後も相手方にアンケートを行い、生徒の理解度等を把握し、今後の講義をよりよいものにできるよう参考資料とした。講義後のアンケート結果は高評価であり、事前アンケートの効果もあったと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/8海田中学校 ・11/1安芸府中高等学校 ・12/9広島南特別支援学校 	達成	<p>①院内でがん教育について周知できた。</p> <p>②事前、事後のアンケートに協力していただき、よりよい講義ができた。</p>	継続	<p>①院内において、がん教育の重要性の共有を継続していく。</p> <p>②派遣先の学校と連携し、事前・事後の理解度の把握に努め、よりよい講義を提供していく。</p>

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年3月25日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
広島市立広島市民病院	講師人数を確保する	現在、講師が一人で7~2校の中学校を受け持っているため、講演件数には限界がある。講師を増やすことができれば、講演箇所の拡大が可能である。	①がん診療整備委員会で、医師に広報する ②医師に広く広報し募集する ③医師を推薦し選抜する ④退職された医師に交渉する (謝礼金・交通費などの予算をたてる)	①8月 ②③10月 ④12月	①②③について 院内の組織であるがん診療整備委員会は、多職種で構成されがん診療について協議する委員会である。そこで、がん教育の取り組みについて共有し、メンバーに理解を求めた。そしてがん教育を担っても良いという医師を募集した。その結果1名の自薦があった。また、2名を推薦し承諾が得られたため、がん教育の担当者は計3名の増員が出来た。来年度は、現在がん教育を行っている医師を含めて4名体制でがん教育を行うこととなった。 ④の計画については、院内の医師に承諾が得られなかった場合の計画であったため、実施していない。	達成	広島市教育委員会からの依頼により、直近3年間においては中学校でのがん教育を7校~2校(コロナで中止)実施してきている。医師一人ではこれ以上の拡大は難しいため、PDCAの取り組みを利用し、他の医師へ働きかけを行い、3名の増員ができた。	継続	来年度は4名の医師によりがん教育を行う ①10校までは対応可能とし、広島市の教育委員会に希望を募っていただく。 ②学校で事前アンケートを行って頂き、聞きたい内容について前もって伺う。 ③講師担当医師の情報共有の場を設定する。 ④引き続きがん関連の診療科医師に、学校へのがん教育に携わっていただくよう協力を求める。(がん教育の実績や内容をがん診療整備委員会で報告)

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和3年6月22日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
広島赤十字・原爆病院	がん教育の依頼があった場合の体制を明確にする。	実績が不明確	1. 依頼の窓口を一本化する。 2. 依頼があった際の体制を構築する。	9月	施設責任者に情報が遅滞なく入る体制を整えた。	達成	施設責任者に情報が入り、決断できる体制を整備できた。	完了	

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和 年 月 日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
広島市立安佐市民病院	受講者（生徒 & 教育者）の評価と理解度調査	受講した生徒と教育者の ・教育内容の理解度 ・教育内容の評価 ができておらず、今後の改善点が不明	受講した生徒と教育者を対象に ・質問表による理解度調査 ・教育内容のアンケート調査 を行う	今年度中	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は高等学校2校(235名)、中学校7校(642名)を対象にがん教育を実施した ・開催方法はコロナ禍の影響もあり、現地開催は1校のみで、8校はオンラインでの授業であった ・全ての学校でがん教育担当者、生徒さんにアンケート調査、質問票による理解度調査を実施した ・一部データ欠損はあるものの全ての学校からアンケートの回答を得た 	達成	<p>①がん教育担当者にがん教育の感想、問題点アンケート(授業後) 外部講師に期待していたことは概ね実施されたと感じておられたが、オンラインの開催については現地開催を希望される学校や、オンラインでの体制が不十分である学校もある実体が明らかになった。</p> <p>②生徒にがん教育授業後のがん教育に関する感想アンケート 授業については内容のわかりやすさ、授業の進め方、今後の生活改善などについては80-90%の良好な解答であったが、スライドや医学用語についてはやや難解な点もあったようである</p> <p>③生徒さんを対象にがん教育前・後でがんに対する意識変化や理解度の変化に関するアンケート調査を各校の同意を得て実施した 授業後の「がんに関するイメージ」はがんは身近な病気、早期に見つかれば治る可能性が高い病気であることの理解が進んでいたが、がんは怖い病気との意識は授業後も94%と高い結果であった。がんに関する理解度では授業前は多くの項目で「わからない」との回答が多かったが、授業後はいずれの項目でも理解が進んでいる状況であった。「がんの治療法」「がんの特徴・経過」「がんの種類と症状」についてもっと知りたいとの意見が多かった</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・がん教育前後のアンケートで生徒のがんに対する意識や理解度が進んでいることが確認できたので積極的に関わっていく ・生徒と学校のがん教育担当者の意見を参考に、医学用語を含めスライド内容をわかりやすく改善する(文部科学省のがん教育教材を参考にする) ・生徒の関心のある項目も授業に取り入れる ・授業での情報内容、量とも学校担当者を事前調整する ・次年度より当院のがん教育担当者を増やし担当者の負担を軽減する予定である。また、負担軽減のためオンラインの環境が整った学校ではオンライン授業を継続していきたい

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年2月8日現在

病院名	実施計画（P）				実行（D）	評価（C）		改善（A）	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期（予定）		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
JA 広島総合病院	①がんサロンの開催	①②コロナ禍で対面・集合での教育の機会が制限されている ③コロナ禍で訪問制限	①少人数で開催	①10月より	①12月に1回開催した ②実行できていない ③市民図書館に「がん情報コーナー」を設置しているが、情報の更新ができていない	未達成	①1回は開催できたが、コロナの再流行により以降開催できていない。	継続	コロナ禍で計画が実行できていないため、まずは実行することを目標に、継続して取り組んでいく。
	②二次予防（健診受診）		②Web配信	②12月目標			②実行できていない。		
	③市民図書館		③「がん情報コーナー」を活用	③今年度中			③実行できていない。		

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和 年 月 日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
呉医療センター	がん教育の事後評価について	毎年、教育委員会の依頼でがん教育について講師を派遣して、講義を行っているが、講義後の事後評価ができていない。	教育委員会と調整し、アンケートをとっていたが、結果を送付してもらい、その結果から来年度の講義内容を検討する。	令和3年12月	学校からのアンケート（講義の感想）を講師へ報告し、来年度の講義の検討材料としてもらった。	達成	アンケート（講義の感想）を講師にフィードバックし、次回の講義の検討材料としてもらうので、計画通り実行できたので、達成とした。	継続	アンケートの結果を次回の講義へ反映させる。

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年2月7日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
東広島医療センター	<p>がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つよう普及啓発。</p> <p>学校教育におけるがん教育を定期的に実施。</p>	<p>行政の担当者（広島県教育委員会）と面識がなく、学校教育でどのようながん教育が求められているか分からない。</p> <p>診療業務があり、時間の確保が難しい。</p> <p>新型コロナウイルス対策にも配慮する必要があり、現地へ行って講義を行うのは難しい。</p>	<p>行政の担当者との連絡体制を構築する。</p> <p>学教教育で求められているニーズを把握する（可能なら自治体や学校に調査）。</p> <p>がんフォーラムで中学・高校生向けに情報発信を行うなどして、定期的ながん教育・啓発をする体制を整える。</p>	今年度中	<p>広島県教育委員会に連絡をした。</p> <p>今年度は3校での講演依頼を受け、感染状況を考慮して2校で講演を行った。</p>	概ね達成	<p>教育委員会の取り扱いは公立のみで、私立は別部署が窓口（県の学事課）。教育委員会では、医師会を通じ派遣可能なリストを作成している。小学生から教育はしているが、中学生、高校生に対し、講師派遣をお願いしている。学校教育で求められているニーズを把握する調査については、現時点では未実施である（市役所はがん教育には関与してなく、教育委員会にアンケートを依頼すれば公立学校には実施可能であることは教えていただいた）。</p> <p>コロナの感染拡大により1校は学校での講演は中止となったが、2/21にWebで講演予定。中学、高校生向けの教育実施を引き続き実施していく。</p>	継続	<p>次年度は現時点で3校から依頼がある。他病院の取組を参考に当院でも事前・事後のアンケートを実施し、学校や生徒のニーズに応えるよう努める。</p> <p>がんフォーラムで中学生、高校生に情報発信を行う。</p>

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」, 「概ね達成」, 「未達成」から、A改善における区分は、「完了」, 「継続」, 「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年2月14日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
JA尾道総合病院	小・中・高の学校教育における「がん教育」への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●講演依頼のある学校が常連化しており、新たに依頼してくる学校が増えない。 ●学校との、事前打合せおよび事後評価の充実。(現在も実施しているが、更なる充実を目指す。) 	⇒担当市町の教育委員会との連携。(教育指導課)	6月～10月	<ul style="list-style-type: none"> ●7月、尾道市教育委員会と連絡を取り協議。 <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに各学校に「がん教育講義」の意向確認・申込案内を行い、希望校を募っている。 ・一応、期限を設け回答することになっており、各学校の年間計画に盛り込まれるか否かで応募校が決まってくる。 ・年度途中でも講師との都合が合えば対応できる旨を伝え、来年度以降、年度途中でも「がん教育講義」の実施を検討いただけるよう依頼した。 ・必要に応じて、定例で行われている養護教諭の会議に参加し、「がん教育講義」について意見交換できるよう調整した。 ●11月・12月で5公立中学校に2名の医師が講師として講義を行った。(※当初、10月から開始予定だったがコロナ禍で延期。) <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭の先生を窓口、講師が直接連絡をとり、事前学習の確認、講義前意識チェック、講義内容等の事前の打合せ、講義後の振り返り(感想文)、意識変化のチェックなどを行った。 ・同じ講師(医師)が同じ学校に連続して講義に行っているため、養護教諭との連携もスムーズで、前年等との比較も可能だった。 	達成	<ul style="list-style-type: none"> ●連絡をとり、協議した時点では、今年度の始動が済んでおり、新規依頼を獲得するには至らなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が年間計画に基づき行われているため、来年度計画を立案する前に「がん教育講義」の売り込みを行う必要があることを知った。 ●事前に養護教諭の先生がアンケートを行ってくださり、生徒さんの理解が不足している点を明確に出来たことで、講演の焦点を絞り込むことが可能でした。 ●事後アンケートで生徒さんの理解が大幅に改善出来ていることを共有出来ました。 ●『がんとは』、『生活習慣』、『検診の重要性』に焦点を絞ったことで限られた時間内で一定の効果が上がった感触があります。 ●『がんの診断』、『がんの治療』、『がんの緩和ケア(精神的なフォロー)』を中学生の段階で指導すべきか? 高校生以降がよいのか? <ul style="list-style-type: none"> ・講演を契機に、がん、細胞などの知識を深めたい生徒が出てきた場合の対応。 ・家庭内における「がん検診」への関心は高まったか? 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会との連携・協議の時期を早め、早期に各学校に「がん教育講義」の広報・有用性を伝えていく対策を行う。 ●講演を受ける生徒さんがどのレベルまで指導され、理科、保健体育の授業で教育されているかの事前情報があるととっと助かる。 ●講演だけではなく、テーマによっては生徒さんから意見・質問を伺う形式も良いかもしれない。 ●指導効果の向上のため、 <ul style="list-style-type: none"> ・事前事後の打ち合わせが必要! <ul style="list-style-type: none"> →講師候補者に対して、学習指導上の留意点について共有。 →授業計画の作成・企画は教員が主体で。講師はその計画に沿って話題提供。 →事前アンケートで問題点の提起。事後でどのくらい理解が出来たか再度確認を。 ・講師サイドから、、、 <ul style="list-style-type: none"> →がん教育に必要な内容を関連づける。 →がんに関する課題に関して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理、生活行動の選択が達成できるように指導。 →がんを通じて、健康や命の大切さを気づかせる。 →がん患者や家族のがんと向き合う人々の取り組みに関心を持たせる。 →生徒が理解できない専門用語を用いない。発育・発達に考慮した指導。 →“がんは怖い”というイメージの払拭。がんを契機に健康を考える方向性。 →生徒が自らの意見を積極的に述べることが出来る内容が理想。
			⇒担当学校の養護教諭との連携。	10月～1月					

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年2月3日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
福山市民病院	外部講師による講演についてのテーマの選定	受講対象者の詳しい情報がないと、講演の内容を決めるにあたって困難がある。 また現在のコロナ禍の状況がおさまれば、依頼件数が増加することが考えられる。的確で効率的に相手方から情報を聞き取る必要がある。	依頼先教育機関の保健主事からの聞き取りを円滑に行うため ①事務処理マニュアルの作成 ②講演受講対象者に対する事前のアンケート様式 (がんに対する理解度調査のため) の作成 ③講演受講者に対する事後のアンケート様式 (がんに対する理解度調査のため) の作成 を行う。効果的な講演が行えるようにテーマを選定する。 また合わせて、講演受講者から事後評価をもらうことで、今後の講演の質の向上につなげるため ③講演受講者に対する事後のアンケート様式 (がんに対する理解度調査のため) の作成 を行う。	2021年12月31日 (予定) 今年度は1件外部講師派遣依頼があり、その実施日である11月25日の講演で効果をはかる。	①事務処理マニュアルの作成→マニュアルと相手方責任者向け質問票の2つに分けて作成。 ②講演受講対象者に対する事前のアンケート様式 (がんに対する理解度調査のため) の作成 ③講演受講者に対する事後のアンケート様式 (がんに対する理解度調査のため) の作成 →②・③については実施の前後での効果をはかるためほぼ同じ質問内容としている。 上記3点について、来年度も統一的な対応ができるよう、今年度の事例をもとに作成した。次年度以降も事例を重ねるごとに改善していく予定。 今年度作成した上記3点については別添参照。	達成	当初予定していた計画は達成することができたので評価は「達成」とした。 事前と事後のアンケートをほぼ同じ内容にしたことで授業後の理解度の変化を知ることができた。例：一生の間で何人に一人ががんで亡くなっているといわれていますか→正答率が34%から81%に上昇 しかし、今年度は申請件数が1件と少なかったため、作成したものが真の完成形とは言い難い。 今後も回数を重ねるごとにブラッシュアップしていくことが重要と考えている。当面の改善点としては、依頼先教育機関の教員の方にもアンケートを実施し、派遣した外部講師の評価をしてもらうといった案がある。	継続	当面の改善点としては、依頼先教育機関の教員の方にもアンケートを実施し、派遣した外部講師の評価をしてもらうこと。次回よりこれを実施し、更なる改善につなげていく。今後はとにかく経験を積んでいくことが重要と考える。

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年3月29日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
福山医療センター	がん教育実践への取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会からの依頼がない ・診療とがん教育の両立が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん教育のための組織（グループ）を作る ・情報の共有化 	2021年秋ごろ	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県教育委員会より依頼があり、2021年10月27日、福山市立城西中学校にて、中学2年生を対象に「がんの病気について知ろう」というテーマで教育講演を行った。 	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、教育委員会からの依頼があり、10月に教育講演を行うことができた。教育講演を行った学校の生徒さんから感想文をいただき、「日本人の2人に1人はがんになるということを知り驚いた」「生活習慣を見直すことでがんになることを防ぐ可能性があることを知った」など、学生さんに、がんについて考えてもらえるきっかけになったと思います。 ・がん教育のための組織は以前よりあったが、今まで講演の依頼がなかったこともあり、ほぼ活動していなかった。今回の講演を機に明確な役割分担を示し、院内での情報の共有化を図っていきたい。 	継続	来年度もすでに教育講演の依頼を2件いただいております。講演後にアンケートをとる等し、今後の教育講演にフィードバックしていきたい。また、院内のがん教育グループにもその情報を共有し、よりよい講演を行っていきけるようにしていきたい。

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年3月31日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
市立三次中央病院	学校におけるがん教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が希望する講演内容がよくわからない。 生徒が講演内容に対する理解度の把握ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の先生などからも意見を聞き、講演内容の参考にする。 講演後アンケート調査を行い実態を把握する。 学校に対し、講義後の生徒の反応を教えてもらうよう依頼する。 	令和3年9月～10月	<p>令和3年9月から11月にかけて、対面または録画にてがん教育講演会を4つの高校にて実施した。</p> <p>高校の要望を参考にした上で、「わが国のがんの現状、がんの早期発見とがん検診、がん患者への理解と共生等」「がんについて」「がんの発生から予防治療と生活について」「がんの予防とがん検診について」をテーマに講演を行った。</p> <p>講演後実施したアンケートによると、8割の生徒は「よく理解できた」残りの生徒も「まあまあ理解できた」という結果であった。</p> <p>また、生徒からは「日本人の死亡率はがんが一番高い」「早期発見で95%の人が治る病気である」「がんを防ぐための新12か条を意識して生活していきたい」などの感想があった。</p>	達成	各高校を対象としたアンケートの実施により、理解度や感想、疑問点が明確化されている。これらのアンケート結果に基づき、生徒が疑問に感じる内容を把握し、次年度以降の講演内容に反映することができると考えている。	継続	評価にあったように、今後もこの活動を継続し、各高校の希望する内容を十分に聞き取り、講演内容のデータを必要に応じて更新し、感染状況にかかわらず講演の実施ができるような体制を構築していく。

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年3月28日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
呉共済病院	①学校に対する「がん教育」の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が希望する講演内容がよくわからない。 ・受講した学生が講演内容をどのくらい理解しているのかよくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演後アンケート調査を行い実態を把握する。 ・生徒が興味を引くよう工夫する。 ・講演の状態を動画におさめて今後の改善点にする。 ・学校の先生などからも意見を聞き参考にする。 	R3年11月	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査は学校側で行い、結果が病院に送付された。 ・生徒が眠くならないよう、また、少しでも興味を持てるよう、内視鏡治療の動画を取り入れた。動画については事前に学校側と相談し、「臓器や出血などの場面がある」などの情報を提供して注意喚起した。 ・学校側と交渉して、当院広報課のスタッフが同行し、講演内容を撮影した。動画は来年度の講演の参考とし、また講演時の写真を病院のLINEで配信して、市民の皆様当院の活動をお知らせした。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・学校に対する「がん教育」の講演と同じ内容のものを一般市民向けに動画作成し、以前より行っている市民向け講座(イキイキ講座)としてYouTubeと病院のLINEで配信した。また、病院広報誌にて紹介した。 ・令和3年10月21日には「第28回がん診療連携研修会」として緩和ケア研修会(チームで活用する現状確認ツール"IMADOKO")を会場とZoomのハイブリット形式で開催した。 	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の結果や講義を担当された先生の話から、こちらからの一方的な講義では、なかなか理解が難しいのではないかと考えられた為、次年度からは学校側とがんに対する授業内容について、事前に確認を行うことが必要だと反省した。 ・講義内容に治療の様子を動画で取り入れたり、スタッフが同行してビデオカメラをまわすことで、生徒さんが緊張感をもって講演を聴くことができたように思う。また、学校側と交渉することでこの度の活動をお知らせしたり、来年度の参考にすることができた。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民がZoomのハイブリット形式で参加することは難しいが、『イキイキ講座』の動画配信は一般の方でも、時と場所を選ばずに視聴することができた。 ・来年度はもう少し気軽に、一般市民が視聴できるような方法を考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・学校側の担当者と事前打合せを行い、学校側のニーズに沿った「がん教育」を行いたい。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・この度はZoomのハイブリット形式を利用した講演会を開催したが、一般市民は参加しにくいと思われたため、次回は別の普及啓発方法を考えたい。 	
	②一般市民に対する「がん教育」の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため対面式の開催が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB形式での開催を計画する。 	R3年10月					

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年3月30日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
尾道市立市民病院	市民公開講座 病院ホームページへの掲載	新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていない		未定	新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていない	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていない	その他	市民公開講座の実施を計画としてあげていたが、コロナ感染症の影響により開催できなかった。尾道市の健康推進課と連携しがん検診のメリット、早期発見、早期治療について広報やホームページを活用して普及啓発を行っていく

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。

令和3年度 広島県がん診療連携拠点病院間のPDCAサイクル実施計画・管理表

テーマ : 「がん教育」に関する取り組み

令和4年3月29日現在

病院名	実施計画 (P)				実行 (D)	評価 (C)		改善 (A)	
	課題名	現状の問題点	改善方法	改善時期 (予定)		区分	実施内容	区分	次年度へ改善内容
広島大学病院	学校教育におけるがん教育プログラムの検討	学校教育において求められるがん教育のニーズが把握できておらず、効果的かつ継続的な取り組みにつながらない	広島大学附属学校と連携し、がん教育のための新しいプログラム作成を検討する	年度内	広島大学教育学部東雲中学校と連携して、中学教育におけるがん教育テキスト (副読本) を作成計画中である	未達成	章立て 割り振りを計画中であるが、エフォートが当初より高くなり、多くの人材協力が必要になることが判明した。全体のボリュームの低減、達成目標を明確にして、現在、内容を再構築中である。	継続	2022年度において第1学年に対して3回程度のがんに関する授業を予定している。 この3回で ・がんの概念 発生の機序 DNA/RNA/蛋白質の合成とその異常 ・異常蛋白が起こす細胞増殖の不具合 各臓器のがんの特徴 ・治療の概論 を系統的にまずは講義する。 その内容について ・授業前に教職員との授業内容 配布プリントにたいする討議 ・教職員による授業参観 ・授業後のアンケート結果を基にした総合討論 を通じて、教科書 (冊子体) の作成を計画している。

(注) 実施管理・区分欄の記入

C評価における区分は、「達成」、「概ね達成」、「未達成」から、A改善における区分は、「完了」、「継続」、「その他」から、それぞれ1つを選んで記入すること。